

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いるかデイ中屋敷		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年2月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年2月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○事業安全計画を作成し、研修や訓練を実施している。	○非常時に、速やかに適切に対応できるように心がけている。	○研修や訓練については、事業団事務局の指導の下、各事業所と連携を図りながら実施していく必要がある。
2	○虐待を防止するため、適切な対応をしている。	○事業所内研修を行うとともに、法人内研修へも積極的に参加し、職員の意識の高揚を図っている。	○今後は、外部研修へも積極的に参加する機会を設け、職員の更なる意識の高揚を図りたい。
3	○個別活動と集団活動を組み合わせて、デイサービス計画を作成している。	○普段から子どもの観察に努め、現在の状況を踏まえてデイサービス計画を作成し、職員全員で支援を行っている。	○今後も、子どもの現状についての確に踏まえ、子どもたちが自分らしく成長していけるような、有意義な計画を作成できるように努めていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○第三者による外部評価が行われていないこと。	○現在、自己評価のみであり、自分たちでは気づかない視点や対応策が把握しにくい状況にあると考える。	○事業団事務局と連携を図りながら、第三者による外部評価の実施を検討していくことが必要であると考えている。
2	○地域に開かれた事業運営が行われていないこと。	○事業所内で運営は完結している状況であり、特に問題はないと考えてきた。	○今後は、地域のニーズの把握に努めながら、必要に応じて事業所の事業に、地域の方々が参加できるような検討を図ってきたい。
3	○職員の配置数が十分ではないこと。	○今年度より、常勤職員が4人体制になったが、決め細かい事業運営を行うには、常勤職員の数がもう少し必要と考える。	○事業団事務局と連携を図りながら、必要な職員数を確保できるようにしていきたい。